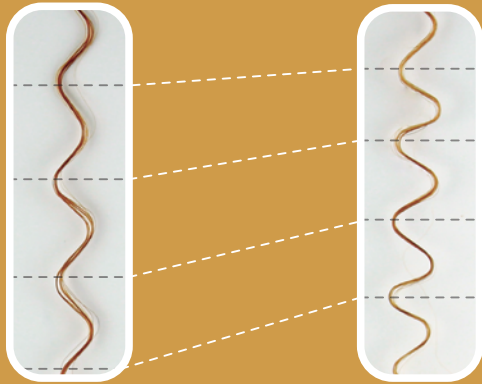




ソニルシリーズ

新型ソニルクリープS・Hが魅せる！ 次世代“ダメージ補修カール”



従来品



改良品

毛束を用い、ソニルクリープS・H / BⅡローションにてカールテストした。左が従来品、右が今回の新型ソニルクリープ。見ての通り新型の方がカールのかかりがとて良いことが分かる。

従来品よりさらに持続力向上を実現！

補修も同時に行うからこそできるリトルならではの技！

新型ソニルクリープ

補修



持続力

ダメージ補修カールが当たり前の時代に！

新型ソニルクリープS・Hでは、

“ダメージ軽減”ではなく“ダメージ補修しながら”

狙ったカールがぷるんとつくれ、持ちも向上します！

S・H

ダメージを補修しながら、アミノシステイニルφ型ケラチンが芯を作りカールの弾力を向上させます。また、ダメージした部分の髪の弾力が上がるので、狙った通りのカールがつくれてカラーとパーマのW施術でつくるオシャレが繰り返し楽しめます。



ソニルクリープS

[タイプ]	ソフトタイプ
[剤形]	ローション
[還元剤]	システアミン
[システアミン濃度]	2% (チオ換算)
[pH]	8.8
[アルカリ度]	2.1
[対象毛]	ミドル～ローダメージ
[容量]	400g
[価格]	2,080円

ソニルクリープH

[タイプ]	ハードタイプ
[剤形]	ローション
[還元剤]	システアミン
[システアミン濃度]	4% (チオ換算)
[pH]	8.5
[アルカリ度]	3.0
[対象毛]	ローダメージ～健康毛
[容量]	400g
[価格]	2,160円



BⅡ

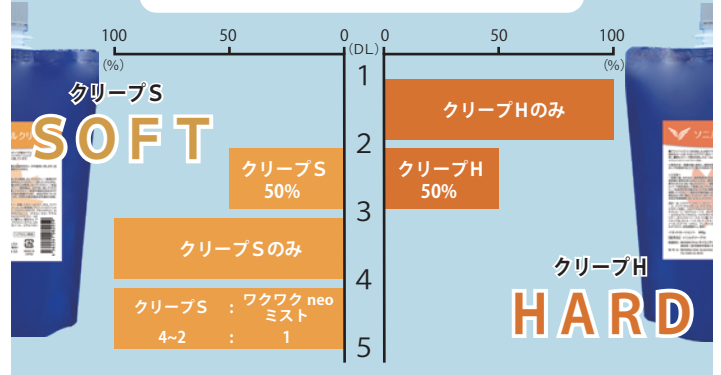
髪デザインとやわらかい質感をキープしながら、膨らんだ髪をやさしく引き締めます。



ソニルBⅡローション

[酸化剤]	ブロム酸
[ブロム酸濃度]	6%
[pH]	6.5
[容量]	1,000g
[価格]	2,000円

ソニルクリープS・Hの使いわけ



※表示価格はすべて税抜です。

neo Ast Creep Process

ここではソニルクリープS・H/B IIローションを用いた neo 取れんクリープのプロセスをご紹介します。

01
毛髪診断
シャンプー

02
前処理

03
ワインディング

04
1 液塗布・放置
(放置時間：5~15分)

05
中間水洗

06
中間処理・還元剤封鎖

07
クリープ（熟成）
(放置時間：7~15分)

08
中間処理・pH調整

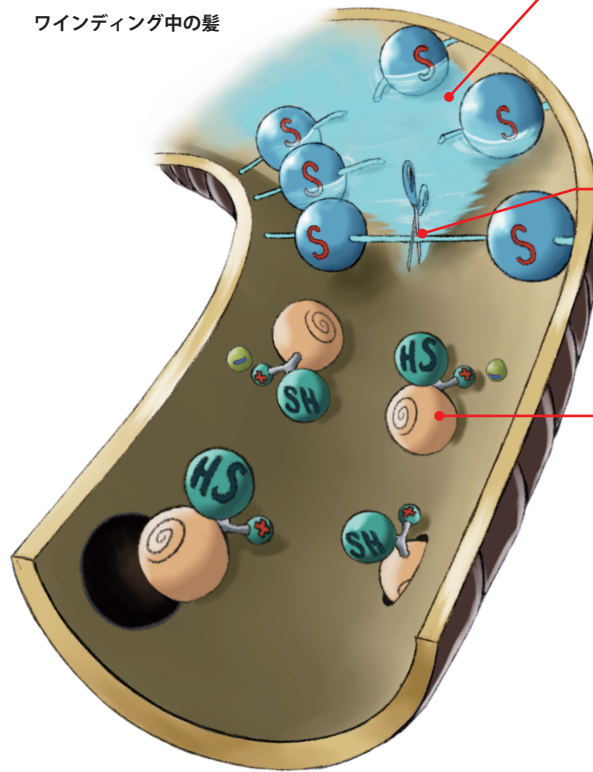
09
2 液塗布・放置
(放置時間：7分×2)

10
ロッドアウト・後処理

11
トリートメント
仕上げ

ソニルクリープS・Hの髪内部での働き

ワインディング中の髪



尿素

尿素が毛髪の水素結合を緩め、髪をやさしく膨らませることで、システアミンが素早く髪の内部まで浸透しやすい状態にします。

アルカリスステアミン^{※1}

アルカリスステアミンがS-S結合を切断していくことでまっすぐに戻ろうとする力を弱め、カールしやすい髪にしていきます。

アミノシステイニルφ型ケラチン^{※2}

アミノシステイニルφ型ケラチンを導入すると、プラスの電荷をもっているためダメージ部のマイナスの電荷の部分にイオン結合します。その後、BIIローションで酸化することでグアニジル基同士がS-S結合となるため、髪をしっかりさせてくれます。さらに、アミノシステイニルφ型ケラチンはダメージホールを補修し、髪の強度を落とさず、逆にしっかりとさせながら、システアミンが内部を均等に軟化します。

ソニルB IIローションの髪内部での働き

必要ない水分は
押し出されて外へ。



ホホバエマルジョン^{※3}

ホホバエマルジョンがブロム酸の浸透を高め、髪を元の太さに戻し、柔らかい質感に仕上げます。

カシスポリフェノール^{※4}

膨らんだ髪から水分を押し出して引き締めることでSHとSHを近づけます。

ブロム酸

ブロム酸が働くのは髪が酸性(pH4~5)のときです。中間処理で酸性にすると髪がほど良く締まり、S-S再結合します。

※1システアミンHCl ※2アミノシステイニルケラチン(羽毛) ※3ホホバ種子油 ※4クロフサスグリ果実エキス
※イラストはイメージです